

保護者各位

目黒学院中学校  
目黒学院高等学校  
校長 関口 隆司

### スクールハラスメントに関する相談窓口のお知らせ

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、マスメディア等を通して、教育現場において体罰をはじめとした行き過ぎた指導・各種ハラスメントが横行しているとの報道がなされております。改めて申し上げるでもなく、本校は斯様な誤った指導を絶対に容認いたしておりません。

本校は在校生の学園生活のさらなる充実を目指し、学内にハラスメント相談窓口「スクールハラスメント委員会－《より安心に、かつ快適に》－」を設置しております。ハラスメントは、学ぶ権利を奪い、人の尊厳を毀損し、人格を否定する行為です。

ご子息・ご息女がハラスメントを受けている（らしい）との訴えが保護者からございましたら、ハラスメント委員が対応させていただきます。電話もしくは書面にて受け付けをいたしております。

私たちはハラスメントの防止に努め、撲滅を目指して参ります。

## スクールハラスメントについて

### 《ハラスメントの代表例》

- ・能力を超えた課題提出を要求する。
- ・大量の課題を短期間に課す。
- ・課題等を受理しない。
- ・廊下等に出し、授業を受けさせない。
- ・正当な理由なく、推薦書等の必要書類を書かない。または書かないと宣言する。
- ・人前(教室、職員室等を含む)で非難叱責する。
- ・わざと口をきかない。返答しない。
- ・プライバシーを暴露する。

### 〈部活動において〉

- ・部活動(同好会・愛好会)にて不当な言動や強圧的態度をとる。
- ・本人の意に反して部活動等を辞めさせる。または辞めさせようとする。
- ・本人の体力を大幅に超えた練習を課す。
- ・上級生を通じて下級生に過大な負担や指導を与える。

### 〈特に女子生徒に対して〉

- ・容姿(髪型を含む)や体型を口にする。
- ・性的な固定観念や役割分担により、差別と思われる指導をする。
- ・性的な冗談を言う。
- ・必要以上に凝視したり、接近したりする。
- ・身体、あるいは身体の一部(髪・肩・腕、等)に触れる。または触れようとする。
- ・交際相手の有無を問う。
- ・1対1で隔離された場所にて一定時間以上を過ごす。
- ・放課後や休日に個人的に呼び出す。
- ・必要以上にメールを配信する。

### 「アカデミック・ハラスメント」「キャンパス・ハラスメント」

パワー・ハラスメントの類型と考えられる。教職員が教育上の権威や権力を背景に生徒・学生に対して行うケースと、学内において職能上の権限を濫用または逸脱して上位者が従属的立場にある者に対して行うケースとがある。ともに意図せず口にした言葉や振る舞いによるものであっても、相手が絶対的弱者であることから、ハラスメントとして認定されることが多い。

※ 正当な教育権の行使による指導などは、ハラスメントには当たりません。